

さくらんぼ通信

 さくらんぼ保育園 園だより No.277

令和6年2月1日(木)発行
さくらんぼ保育園 園だより
桜が丘東2-2-809
Tel 995-9071
Fax 995-9072

保育園で生活していると、友だちとのトラブルは毎日のようにあります。“トラブル”“けんか”と聞くと、いいように思われない方もいるとは思いますが、お互いの気持ちを確認めたり、自分以外の友だち（人）がいることに気づいたりする大切な瞬間です。「Aさんが〇〇した」と聞くと“〇〇した”のそこだけに目を向けてしまいがちになりますが「どうしてそうなったの?」「どうしたの?」と表面上だけでないお互いの気持ちに目を向けることができるように声をかけています。したことに注目してしまうと「ごめんね」「いいよ」と何かをしてしまった側が謝ることでトラブルが終わってしまいます。相手の気持ちに目を向けられるよう促すと、自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手はどう思っていたか、どうしたかったのかなど相手の話を聞いて考えるきっかけにもなります。

保育園生活は、同年齢・異年齢の友だちや大人…いろいろな“人”とのかかわりをもつことのできる場です。年齢によって声のかけ方やフォローの仕方は変わってきますが、自分以外の気持ちを考えて、気づいたりすることのできるよう促し、人間関係の基礎を育てていきたいと思っています。

森川 麻美

今月のBEST SHOT



2月 行事予定

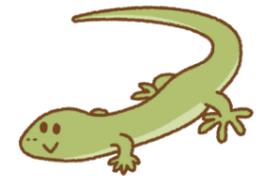
- 2日(金) 誕生会
東小一日入学
- 8日(木) 幼保交流会
- 14日(水) お話会
- 19日(月) 避難訓練

3月 行事予定

- 1日(金) 誕生会
- 6日(水) 卒園旅行
- 7日(木) 健脚活動⑤
- 13日(水) 避難訓練
- 22日(金) 卒園式
- 29日(金) 自由登園～

リズムであそぼう♪

『両生類ハイハイ』…胸・両肩を開き床につけ、曲げた肘・腕が胸の下に入らないように外側に出します。曲げた右肘と右膝がくっつき、右足は伸ばした左足にくっつきます。背骨がくねるこの動きが両生類です。足の指をしっかりと返して床を蹴って前へ進みます。



視線は伸ばした指先で、両生類の舌になり目の前の獲物を捕らえることをイメージしてすすみます。介助して進む時には坐骨を押し、前に進みやすくします。

さくらんぼ保育園の1日～冬～

それぞれの時間どのクラスが
どこで何をしているのかな？

ほし組



朝のあつまりを終えて、日中の活動の時間です。その季節や発達にあったあそびや取り組みを楽しんでいます。この日は日中でも日が照らず寒い日でした。「明日も寒いかな」と子どもたちの中で話題になり、寒い日と言えば…と連想して氷を作ってみることにしました。「どのくらいの量の水を入れたら凍るんだろう」「どんな場所に置いたら凍るんだろう」と子どもたちなりに考え、まずは自分たちの考えだけで水を置いて氷が上手にできるか試してみることにしました。次の日の朝、氷ができた子もいればそうでない子も…。「なんでだろう」という子どもたちの疑問と一緒に調べたり考えたりしながら、挑戦することに夢中になって楽しんでいきたいと思えます。

ほし、そら組と一緒に集団あそびをしています。ルールは、保育者の説明だけでなく、実際やってみながら伝えていきました。

始めは、ほし、そら組の子の動きを見ながら真似をしていましたが、くり返し経験することでルールが分かり、今では自分から積極的に動いています。

“助け鬼”“はないちもんめ”“色鬼”など遊びのバリエーションも増えて毎日「なにをする？」と尋ねると「たすけおにしたい」など自分のお気に入りのあそびを答えています。集団あそびを通して、みんなでする楽しさを共有したり、成功や失敗を経験したりする中で、諦めない心を身につけてほしいと思えます。

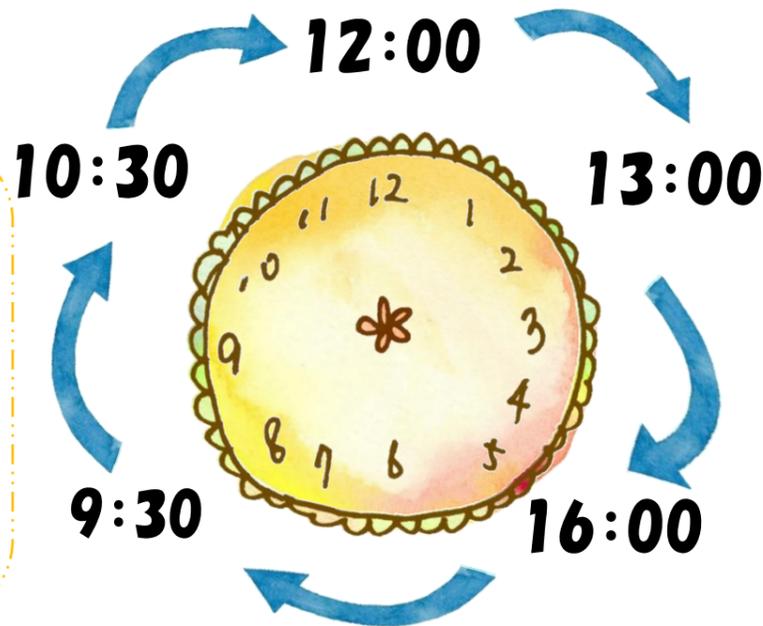


はな組 ゆき組



ごはんが終わったらはな組～にし組はパジャマに着替えて、つき組～そら組は必要な子は新しい服に着替えて昼寝の準備をしています。はな組の子どもたちはパジャマ入れから自分のパジャマを探して取り出します。自分のものだけでなく、友だちのものもわかるようになり「どうぞ」と渡す姿もあります。

ゆき組の子どもたちは着替えた後、自分で着ていた服をたたんでしまうことに取り組んでいます。「ここボタンだよ」と保育者が声をかけながら一緒に畳んだり、畳み方を伝えたりしています。できたことに喜びを感じ、次もしてみようと思えるよう関わっています。



そら組



就学に向けて午睡をしない日を増やしています。この時間は他のクラスは午睡をしているため、そら組だけの特別時間です。室内では毛糸を使って自分のマフラーを編んだり、すごろくをしたり、外では竹馬や一輪車を楽しんでしています。一人では難しいことも友だちと協力をしたり、失敗しても諦めずくり返し挑戦したりすることで、できるようになってきています。この経験を大切に“失敗しても大丈夫”“諦めない気持ち”“協力することの大切さ”なども伝え、自信につなげていきたいと思えます。

つき組

にし組



ゆき組の部屋で午睡をしたあと、給食室の午後のおやつを見て部屋に戻ることが日課になっているにし組の子どもたち。早く着替え終わった子は一緒におやつを取りに行ったり、机を拭いたりして、おやつの用意を手伝う姿もあります。

年明けからは、お茶や牛乳を一人でコップに注ぐことにチャレンジをしています。入れている途中にこぼしてしまうこともありますが「自分でする！」とこぼれたときには、ぞうきんを持ってきて床を拭いたり台拭きで机を拭いたりしています。「できるよ」「やりたい」という気持ちを伝える姿が多くなってきている子どもたち。やってみようとする姿勢を大切にしたいです。

